

トータルソリューションを支える新商品・サービスの開発

(1) 新商品・サービス開発に関する基本姿勢

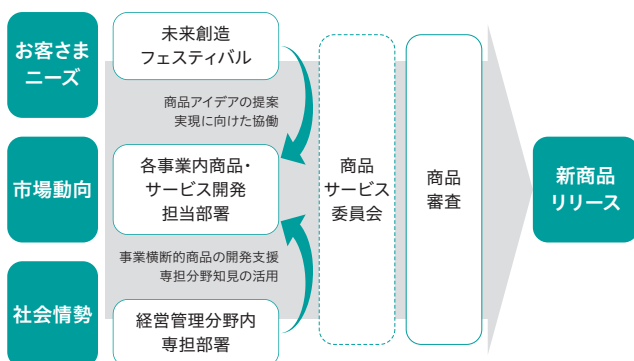
当グループでは、2020～2022年度の中期経営計画を策定した際に、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」という存在意義（パーパス）を掲げました。信託には、その時代の課題を解決するために、信託商品を開発し提供してきた歴史があります。今後もパーパスを胸に、お客さまや社会に貢献できる商品の開発に力を注ぎます。

(2) 新商品・サービス開発の体制

当グループは、信託銀行グループとしての専門性や総合力を強みとして、新商品・サービスの開発を進めています。三井住友信託銀行では、各事業内に新商品・サービスの開発機能を有しており、お客さまのニーズや市場動向などを踏まえ専門的知見を活用して、開発を進めています。

また、経営管理分野には信託開発部、地域共創推進部、デジタル企画部およびサステナビリティ推進部といった専担部署を設け、それぞれ信託とその関連分野、地域共創分野、デジタル分野およびサステナビリティ分野での調査研究を担い、事業横断的な新商品・サービスの開発やその支援を行う体制も構築しています。

■ 商品・サービス開発体制



さらに、新商品・サービス開発について役員などが協議する会議体として商品サービス委員会を設置しています。現場レベルにとどまらない中長期的な経営戦略の視点で、開発プロセスの中でブレイクスルーすべき課題や、推進するための対応策の共有を図ることを目的に、定期的に開催しています。

(3) 社員発の新商品・サービス提案

「未来創造フェスティバル」

2018年より、社員発のアイデアで当グループの未来を創り出すことを目的とした社内ビジネスコンテスト「未来創造フェスティバル」（略称「未来フェス」）を開催しています。当グループの全社員が参加可能であり、社会課題の解決やお客さまの利便性向上などに着目したさまざまなアイデアが毎年寄せられています。

アイデアを提案した応募者自らがその事業化に挑戦できることが「未来フェス」の最大の特徴であり、社員が自立して社会に貢献する、自己実現の機会としても重要な役割を果たしています。

「未来フェス」発の第一号として「おひとりさま信託」が2019年12月に商品化されて以来、その後も順次新たな商品・サービスがリリースされています。お客さまの万が一の時、気になる身の回りのことをサポートするサービス（「おひとりさま信託」）や教育資金贈与信託における払出請求のお手続きのためのスマホアプリ（「孫への想い領収書提出アプリ」）の開発など、いずれも『お客さまの不安や不便を解消する』ものとなっています。当グループは今後も新たな商品・サービスの開発を通じて社会への貢献を果たしていきます。

未来フェスから
生まれた商品・
サービスの例



GOOD DESIGN AWARD
2021年度受賞
おひとりさま信託※1



孫への想い領収書提出アプリ※2
(教育資金贈与信託用)



遺言信託※3
(ペット安心特約付)

※1 <https://www.smbt.jp/personal/blind/after/lp02> ※2 <https://www.smbt.jp/personal/entrustment/education/app>

※3 <https://www.smbt.jp/personal/entrustment/succession/about>